

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	311広域交流拠点の整備		
施策のねらい (めざす姿)	新鎌ヶ谷駅周辺地区は、交通結節点として、千葉県北西部地域を代表する躍動感と魅力ある交流拠点となっています。		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	マネージャー氏名	鎗田 淳

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	・新鎌ヶ谷地区の魅力を高め、まちの賑わいを創出するため、住民、企業、行政が一体となつてかつ継続的なまちづくりの活動を行う。 ・企業に対する地区のPRを積極的に実施する。	③改革・改善内容	引き続き、新鎌ヶ谷地区の魅力を高め、まちの賑わいを創出するため、住民、企業、行政が一体となつてかつ継続的なまちづくりの活動を行う。
②①に基づく取り組み結果	新鎌ヶ谷地区への企業進出の意向確認、地域住民のまちづくり活動参加への意識を確認する事が出来た。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	快適性・安全性・利便性に考慮した都市基盤が整備された地区の賑わいを創出する。
②施策の概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が魅力と活気にあふれる中心市街地として形成されるよう、土地利用の推進や通路等の整備を行う。また、地区における賑わい創出のために、地域の活性化やコミュニティの形成を推進する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	区画整理事業の完了、「東京10号線延伸新線計画」の検討が終了となる中、新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら商業施設等の都市機能の集積や通路等の施設整備が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	新鎌ヶ谷地区の未利用地の活用に向けて、各事業者の進出希望を把握し、状況整理として取りまとめた。また、中街区の歩行者専用通路の整備実施に向け、用地を取得した。さらに、自治会をはじめとする地域住民の声を聞くことで、自主的活動についての意識を把握することが出来た。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	新鎌ヶ谷駅乗降客数(1日あたり)	人	93,088	96,594	調査中	92,000
	ii	新鎌ヶ谷地区事業所数	件	225	236	234	230
	iii						
③基本事業成果指標	i	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業進捗率	%	16.0	17.0	27.0	18.0
	ii	新鎌ヶ谷地区事業所数	件	225	236	234	230
	iii						
	iv						
	v						
	vi						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	25,421	92,629	(単位:円)	853円	51,021		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	通路等の施設整備に向け、関係機関と用地取得や設計についての調整を進める必要がある。また、まちづくり活動への参加に対する地域住民の意識を高める必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	地域の住民や企業のまちづくり活動への参加体制を形成することが出来ていないものの、予定箇所の用地取得については完了した。

V 今後の方向性

①成果の方向性	→維持	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業		
④上記方向性の説明	引き続き新鎌ヶ谷地区の魅力を高め、まちの賑わいを創出するため、継続的に地域の住民や企業と連携を図りながらまちづくりを行うことが必要である。また、東京10号線延伸新線用地を活用した施設整備等を併せて実施することが必要と考える。		